



# Tanabe East Rotary Club in 2016-17

2016-17年度RI会長: ジョン F ジャーム

第2640地区ガバナー: 福井 隆一郎

田辺東ロータリークラブ

創立: 昭和49年5月15日

会長: 山本 亘

幹事: 谷本 司

会報: 岡本 博



人類に  
奉仕する  
ロータリー

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

<http://tanabe-east-rc.com/>

E-mail [t-eastro@mb.aikis.or.jp](mailto:t-eastro@mb.aikis.or.jp)

例会: 毎週水曜日 12:30~

ビジターフィー ¥2,000

## ○会長報告 会長 山本 亘



■4月10日(月) 南方熊楠顕彰館に於いて「南方熊楠翁生誕150周年記念事業実行委員会 第2回総会」が開催されました。実行委員として、会長 山本が出席予定でしたが、急用のため出席できませんでした。

■4月16日(日) ダイワロイネットホテル和歌山に於いて「2017-2018年度会長エレクト研修セミナー (PETS)」と懇親会が開催されます。会長エレクトの木村壽一君に出席していただきます。ご苦労様ですが宜しくお願いします。

■本日の例会終了後、定例理事会を開催いたします。理事・役員の方はお残りください。

■本日のお客様は、ミナミ警察犬訓練所 責任者 南友雄(みなみ ともお)様をお迎えしております。ミナミ警察犬訓練所は三重県亀山市にあるドッグスクールです。後ほどご講演宜しくお願い致します。

■4月9日(日) 和歌山JAビルに於いて「国際ロータリー第2640地区 地区決議会」が開催されました。理事会の信任を得て選挙人として、会長 山本と、幹事 谷本司君の2名で出席して参りました。ガバナー補佐 坂本正人君は、地区役員として出席して頂きました。ご苦労様でした。

## ○幹事報告 幹事 谷本 司



### ■メイクアップ

◎3月23日(木) ガバナー補佐・地区幹事合同会議  
坂本正人君

◎4月9日(日) 国際ロータリー第2640地区 地区決議会  
坂本正人君、谷本司君、山本亘君

### ■回覧

◎「JCニュース3月号」

◎「シーカ143号」

◎南方熊楠顕彰会より  
「南方熊楠翁生誕150周年記念  
第27回 南方熊楠賞授賞式への参加について」

◎ガバナー事務所より  
「第35回RYLA研修セミナー (クラブ)」  
「第35回RYLA研修セミナー 参加申込書」  
「第35回RYLA研修セミナー スケジュール」

### ■例会日時変更

◎白浜RC

4月14日(金)→ 4月14日(金)12:30~

場所: 平草原公園

◎有田南RC

4月11日(火)→ 4月13日(木)12:30~

場所: 「橘家」(有田市宮原町新町)  
<40周年記念例会打ち合わせの為>

4月18日(火)→ 4月18日(火)11:00~

場所: 「橘家」(有田市宮原町新町)  
<創立40周年記念例会>

◎和歌山中RC

4月28日(金)→ 4月28日(金)19:00~

場所: アパローム紀の国 5F <卓話>

## ○本日の唱歌

「北国の春」

唱歌委員 湯川 和洋 君  
作 詞 : いで はく  
作 曲 : 遠藤 実



## ○ゲスト・ピジター

ミナミ警察犬訓練所 訓練師範 南 友雄 様



## ○出席報告

会員数 49名 義務免除 2名 本日の欠席者 10名  
本日出席率 79.17% 3月29日の修正出席率 87.5%  
3月の平均出席率 91.14%

## ○委員会報告

地区ガバナー補佐 坂本正人  
坂本氏より地区の現状報告がありました。  
ご苦労様です。



## ○にこにこ報告

(敬称略)

◇ミナミ警察犬訓練所 訓練師範 南 友雄様をお迎え  
して

愛須勝章・後藤信博・橋本隆・木村壽一・丸山博之  
森本修至・中嶋伸和・野村憲司・坂本正人・  
武田静也・竹村英一・竹中悟・谷本司・谷中順次郎  
上原俊宏・渡口眞二・山本亘・吉田和枝

◇50年来の竹馬の友。  
友雄君、ありがとう。  
佐田一三



◇本日はお買い上げありがとうございます。  
もう少し回数が増やせて頂ければ、うれしいなあ～  
湯川和洋



◇還付金、ありました。(´0`)／  
今晚の飲み代出来ました。  
橋 博



◇キムジョンナム カットしてきました。  
畔田実



◇お花いただきます。  
岡本博



◇本人誕生日  
阪本邦夫



◇奥様誕生日  
片井貢



◇結婚記念日  
杉若雅宣



ミナミ警察犬訓練所  
訓練師範 南 友雄



私は幼少の頃より動物が大好きでした。ただ、私の家では犬を飼わせてもらうことができませんでした。それで私は野生の狸やタカ、トビやカラス等々、いつも数十匹の面倒をみていました。そんなこともあり、よく近所の犬を借りては山へ遊びに行っていました。私は大人になったら犬を飼うことを夢見ていました。



それは高校一年生の時でした。たまたまテレビの番組で、日本で初めて盲導犬を独学で育て上げた訓練士のドキュメンタリーが放映されていました。それを観て、自分もこのような犬を育てる仕事に就きたいと思い、高校卒業とともに名古屋の警察犬訓練所に見習生として入門し、6年間修業しました。この見習いの期間にシェパード犬に魅せられ、原産国であるドイツへ単身わたりました。



当時、私の知っているドイツ語はただ一つ“ダンケシェン”のみでした。そして、私を引き受けてくださった、ドイツの一般家庭での生活のなかで、言葉、習慣を学びました。そしてそこから私に大きなチャンスが・・・

といいますのは国立の国境警備犬学校への入学が許されました。

このような施設はドイツでは北と南に一か所ずつあり、私は南ドイツのノイデテルザウという片田舎で、そちらの施設で学ぶことになりました。この施設はもとはヒットラーの軍事基地で5kmの広さがあります。

当時はまだ冷戦時代でありピリピリ感がありました。また、年配の教官は私のことを「ヒロヒト」と呼んで可愛がってくれました。(恥ずかしながら、私はこのヒロヒトという名が昭和天皇とは知りませんでした)

この学校では50名ほどの兵隊と犬が共同で寄宿生活をして、日々訓練に励んできました。

この頃が最も充実した最高の日々であり、この時に帰国を決意しました。

現在、日本には300種の犬がいますが、プロである私でさえ30種ぐらいしか知りません。

訓練の始める時期は犬種、成長具合にもよりますが生後6か月以降からです。

最初から命令はできませんので、犬と遊び、まずはお互いが相思相愛にならなくてはスタートできません。

訓練とは「飴とムチ」。よく出来た時には犬に対し口先だけではなく心から褒めなければなりません。

説明するのは簡単であります、これは基本中の基本で、犬も一頭一頭性格が違いますので大変です。

その中で、天性の才能を引き出し、さらに高度な訓練へと進みます。

警察犬、災害救助犬、自衛隊犬、タレント犬、サル追い払い犬、どれも人の役に立つ犬達です。

私自身このような犬を育てることをメインに日々励んでいます。

大型犬を扱うには体力が求められますが、今のところまだまだ犬に対する情熱もありいけるところまで頑張りたいです。

